

府中一新、日本一新。

府中の元氣

府中市議会議員

フリーダムネット

発行:市民フォーラム 〒183-0051 府中市栄町 2-14-21

No.46 2011.12

ごみ手数料は何に使われるのか

12月議会報告



浮いたお金は市民に戻すのが筋
財源補填に回すなら、増税と同じ覚悟で

12月議会報告 = = =

＜多磨霊園駅北駐輪場＞
黒字 600万円

駐車場料金やごみの手数料で収支がプラスになっています。

増加分は、第一義的には、利用者や市民に還元すべきもの。次善は関連事業に使うべき。財政が苦しいからといってこれ幸いにその補てんに安易に回すのはよろしくない、という主張をしました。

(2011年12月 本会議)

杉村 多磨霊園北の駐輪場の収益はいくらか？

環境安全部長 600万円程度となる見込み。他の市営駐輪場の運営に充当し、結果として一般財源からの充当額が減額となった。

杉村 つまり、利用者が利用料金として支払ったものが、利用者の知らないうちに一般財源という財布に入ってしまったということだ。利用者には理解しづらい話だ。

府中市といえども今は財政が大変苦しい時です。プラス分を一般財源に入れたい気持ちはわかりますが、「だまって、あたり前のように」、回す感覚が私は許せません。もし財源補填するなら、増税するのと同じくらいの覚悟で、市民に説明すべきです。



= sugimoba.com

＜ごみ手数料＞
浮いた一般財源は、1億9千万円

杉村 ごみ処理方法の見直しの前後で歳入歳出の増減は？

市長 ごみ処理経費への一般財源からの充当額は、1億9000万円減額された。

杉村 ごみ手数料の目的を確認したい。

環境安全部長 ごみの排出抑制や住民の意識改革が目的。財源確保が目的ではない。

杉村 財源確保が目的ではなく、別の目的で集めたお金を市の財布に入れることは、職員の皆さんにはごく当たり前の感覚なんだろうと思う。しかしそれは筋が通っていない。市民感覚とは違う。

選挙で選ばれた市長ならわかると思う。やはり市民に対して説明すべきではないか。「本来なら市民に戻すべきものだが、財政的に大変な時なのでぜひ使わせてほしい」と。

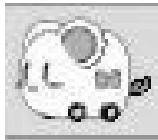
政策総務部財政担当理事 多様な市民ニーズに対応した行政サービスに充当することで市民に還元したい。

市長 今の答弁の通りですが、市民感情もよくわかるところなので、環境基金をつくり一部は環境対策に使わせて頂きたいと考えている。

杉村 25億円以上の財源補てんが必要な時なので、何が何でも補てんに使うなとは言わないが、ただ使うにしても筋を通してほしい。

お金の使い方を役所任せにしないで、皆で一緒に考えていきましょう。

<ちゅうバス> 京王バスの路線検討へ



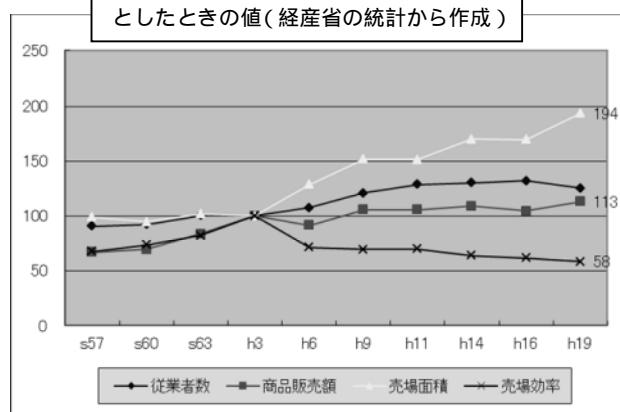
15,000人の署名が集
まつた、ちゅうバス。新た
な動きが出てきました。

多くの市民の声を受けて、府中市自治会連合会が市長に対して、要望書を出しました。これに対する市長の回答には、「京王バスと協議を行い、東八道路への路線バスの導入を、現実的な話として検討していただけたことになりました」とあります。

3年前、市は住民の切実な声を一部の声だといつて無視しましたが、15,000人の率直で真っ当な願いは、とても無視できるものではなかったということです。紛れもなく、これは運動の成果です。これからもまだ難題が出てくることと思いますが、「走らせる会」を中心に住民がまとまり、粘り強く交渉していく

ば必ず

府中市の小売業の状況。平成3年を100としたときの値(経産省の統計から作成)



府中市の小売業の実態は。
売上げは1割増、売場面積は約2倍。

平成23年第4回市議会定例会 議決

付託
委員会

本会議
の結果

市
政
11
市
公
明
6
公
生
ネ
5
共
産
3
友
愛
1
志
高
1

賛成 × 反対 継続

主な議案	総務	可決				
稲城・府中墓苑組合の設立について	総務	可決				
府中市監査委員に関する条例の一部を改正する条例	総務	可決				
府中市生涯学習センター条例の一部を改正する条例	文教	可決		×	×	
府中市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例等の一部を改正する条例	建設環境	可決				

主な陳情・意見書

主な陳情・意見書	本会議	継続				
給食食材中の放射性物質検査の強化を求める陳情	本会議	継続				
市立園と同様の放射能対策を私立園でも実施することを求める陳情	本会議	継続				
府中市議会の議場が、「日の丸」の置かれていない、従来の議場となることを要望する陳情	本会議	不採択	×	×	×	×
府中市議会議場での国旗掲揚の中止を求める陳情	本会議	不採択	×	×	×	×

放射能関係の2つの陳情は、市が対応中なので「継続」に手をあげました。

<放射能問題> 子を持つ親として

民主党府中市議団では、24項目の来年度予算要望に、放射能関連の2つを盛り込みました。

放射線量測定の拡大と放射能の拡散防止の徹底
安全な給食食材選定のための測定とトレーサビリティの強化

9月の私の質問では、測定器の市民への貸し出しを提案しましたが、11月から実施され、市民からの報告が徐々にあがってきています。その中では、

市の公表値よりも高い値が出ています。
(雨どいの下や、校庭の隅など)

簡易測定により、0.23 μ Sv/時(年間1mSvにあたる)を超える値が出た場合、市が再測定することになりますが、再測定で高い値が出た場合に市がどのような対策をとるのか、注視していきます。

給食は「まるごと測定」で

12月議会では、西宮議員が代表して給食の検査を一般質問で取り上げました。横須賀市などで実施されているような、1食分をまとめてミキサーをかけて測定する「まるごと測定」を提案しました。

つまり、売場効率は4割減。

これからの府中市の課題は?

府中市の財政も厳しい。毎年20億円以上の歳出超過を基金の取崩しで凌いでいる。一方、地域経済は左記の状況。駅前再開発と庁舎の建替えという2大プロジェクトが、果たして成り立つか。

庁舎は耐震調査で赤信号。1つにまとめて、再開発地区に庁舎を入れてはどうか。など、柔軟な発想、知恵と工夫が、これからの府中には必要です。

府中市議会議員



杉村康之

ご意見をお聞かせ下さい。

Email

ysugimura@ac.auone-net.jp

Blog

ameblo.jp/sugimurayasuyuki

Twitter @fuchu_no_genki

Mobile Web sugimoba.com

Web www.fuchu21.gn.to

TEL 042-335-0097

FAX 042-361-9856